

①




マネージャーがデータ入力
スコア入力用アプリに試合を見ながらデータを入力します

②



複数のデジタルデータに
1つの入力が複数データに自動生成され瞬時に見れます

③



Webサイトにアップロード
アプリ内の全てのデータをアップロードできます

④



見たい時にデータが見れます
いつでも、どこでも、好きな時にデータの閲覧が可能です

第129回 かわさき起業家オーディション
「かわさき起業家優秀賞」受賞

データスポーツの新たな分野への挑戦



株式会社バスケプラス

代表取締役
盛 透

当社は、バスケットボールのスコア分析ができるiPad用アプリ「BasketPlus」を提供しています。こちらはリリースから約10年が経ち、中学・高校や大学のバスケットボール部などを中心に、全国約3000チームに利用されています。

私は2020年に独立しましたが、もともとは大手情報通信会社に在籍しており、そのときに企画から普及まで手掛けたサービスがこの「BasketPlus」でした。

独立を決意したきっかけは、新型コロナウイルスの流行です。「BasketPlus」は月額定額制のサブスクリプションとして展開しているので、緊急事態宣言が出たときは「かなり解約が増えるだろう」と覚悟していました。というのも、このサービスのメインユーザーは学校の部活動なので、一斉休校に合わせて多くのバスケット部が休部に追い込まれていたからです。ところが、実際の解約率はわずか1%に留まりました。コロナ禍にあって、これだけ解約率が少ないのは、このサービスがそれだけ求められているということです。これならこの先の20年、30年、どんなことがあっても必要とされ続けるだろうし、もっと広めていけるだろうという確信を得ました。そこから資金を集め、前職から事業譲渡という形で「BasketPlus」を引継ぎ、独立を果たしました。

■受賞したビジネスに至った経緯

2010年、前職の大手情報通信会社で営業を担当していた頃に、バスケットボール団体と協働で新規事業を立ち上げることになりました。情報通信とバスケットボールを掛け合わせた新しいサービスを展開できないかと模索していた折、何気なく見ていたテレビで、バレーボールの試合が行われていました。そこには元バレーボール日本代表の眞鍋監督が、iPadを片手に選手へ指示を出している姿が映し出されていました。それを見て「バスケットボールでもこういうアプリが作れるのではないか？」とひらめいたのです。そこで、バスケットボール用の分析アプリはあるのか、それはどのくらい普及しているのか、調査をはじめることになりました。

さっそく高校バスケットボールの全国大会をのぞきに行くと、100校くらいが参加する中で、iPadを使っていたチームはわずか3校ほどでした。現場でヒアリングしてみると、あちこちから「使い勝手の良いアプリを探しているけど、見つからない」という答えが返ってきたのです。ニーズがあることが分かったので、すぐ開発に着手し、2012年2月に「BasketPlus」のリリースに至りました。

■サービスの特徴

「BasketPlus」は、全国の小学校（ミニバスケットボール）、中学、高校、大学の部活動、社会人などのアマチュアのバスケットボールチームを中心に展開しています。プロも利用しているスペックを、手ごろな価格で使えることが特長です。インターハイや国民体育大会などのオフィシャルスタッフとしても採用され、高い認知率を誇っています。

学校の部活動などでは試合の結果を手書きで記録し、改めて表計算ソフトなどに手入力することが一般的で、時間も労力もかかります。しかし「BasketPlus」は指先一つでiPadに直接スコアを入力でき、集計されたものをリアルタイムで確認可能です。そのデータを各自のスマートフォンや自宅のパソコンで閲覧することもできます。

また、何よりも魅力なのはiPadとのセットモデルであり、一気通貫型のサービスであることです。一般的なアプリだと、手持ちのiPadにインストールし、動画などのマニュアルを見ながら使い方を覚えるという形になるかと思えます。しかし、忙しい学校現場で顧問の先生がiPadを用意し、アプリをダウンロードするのは大変な手間です。その点「BasketPlus」は、すでにアプリがインストールされ、チームのメンバー登録も終了状態のiPadをそのまま渡せるので、面倒な作業がありません。操作方法はチームのマネージャーへ直接指導しますし、365日対応のコールセンターでサポートサービスを行っていることも利用者の安心感につながっていると思います。弊社は訪問営業を強みとしているので、現場の声やマネージャー、キャプテン、プレイヤーなどからアプリについてのフィードバックを直接いただくことができます。その声を集約して、1年に1回のペースでアプリのバージョンアップを実施して、使い勝手の良いサービスをつくるためにブラッシュアップを続けていることも、評価されている理由です。

■現状の課題

「BasketPlus」は、すでにリリースから約10年が経ち安定した評価もいただいております。今のところ大きな課題はないと考えています。直近の課題としては、2022年4月リリースのバレーボール用iPadアプリ「ValleyPlus」

と、2022年10月リリースのサッカー用iPadアプリ「SoccerPlus」を、しっかり市場に根付かせていくことです。「BasketPlus」で培ってきたものを、バレーボールとサッカーにも活用していきたいと思っております。ただ、同じ球技ではありますが、点の取り方も戦略もバスケットボールとはまったく違うため、それぞれに合わせた使いやすさやデザインの追求が必要です。よりよいアプリにするために、それぞれの専門家や指導者、プレイヤー、スポーツアナリストといった方々にご協力を仰ぎ、現在準備を進めているところです。

■今後の展開

今後はバスケットボールに加えて、先述のサッカーとバレーボール、そして野球にもサービスを展開し、この4つのスポーツを柱に地盤を固めていきたいと考えています。その先も、ラグビーやアメフトなど、中学や高校の部活動に必ずあり、競技人口の多いスポーツに、次々とサービスを展開させていく予定です。これらを今後5年以内にも実現できるように事業計画を立てています。

また、それに合わせた人材の補強も必要になってくるでしょう。現在はバスケットボール部門を私が担当していますが、いずれは1スポーツ1担当制にすることが目標です。それぞれのスポーツの経験者や、アスリートのセカンドキャリアとしても、経験やスキルを活かせる場になるのではないかと考えています。

私たちの最終的な目標は、圧倒的シェアでも、ナンバーワンの売上でもありません。生涯スポーツを楽しむ人を増やし、スポーツ界の発展に欠かせない立ち位置になることを目指しています。例えば、プロスポーツの世界なら生涯成績が残りますが、アマチュアや趣味でスポーツを続けてきた人のデータは、普通は残りません。しかし、私たちのサービスを活用すれば、小学生時代のミニバスケットボール、中学・高校の部活動、社会人になってからのサークル活動…と、ずっとデータを積み重ねていくことができますし、それをいつでも自分のスマートフォンで確認できる。そのことが、生涯にわたってスポーツに関わる喜びになるはずで、積み重ねたデータを分析することで、表舞台には立っていないけれど、実力のあるアスリートを見つけられるような仕組みもつくれるのではないかと考えています。

■エントリーを検討中の方へ一言

かわさき起業家オーディションへの応募は、自分のビジネスを見つめ直す最大のきっかけになると思います。自分たちが「これだ!」と信じてつくりあげてきた商品やビジネスですから、どうしても客観的には見られず、視野が狭くなってしまっている部分がありますよね。プレゼンテーションの場に出てみると、審査員の方々が自分たちでは気づかなかった問題点や課題点を、ズバズバ指摘してくれます。そうした意見が、自分たちにとってものすごくプラスになりました。実は選考中にいただいた意見を活かして、会社案内をすべて一新したのですが、それくらいのためになる経験ができました。良い意味で、自分の考えを一度リセットすることができますので、ぜひ応募することをおすすめします。

会社名：株式会社バスケプラス

住所：〒146-0083

東京都大田区千鳥2-17-7

メールアドレス：info@basket-plus.jp

ホームページ：https://basket-plus.jp/